

〔国際会議開催〕

申請者	慶應義塾大学理工学部情報工学科 教授 重野 寛	2155008
国際会議名称	2016 IEEE 36th International Conference on Distributed Computing Systems (ICDCS2016)	
開催期間	2016年6月27日～6月30日	
開催場所	奈良ホテル (奈良県奈良市)	
申請者の役割	プログラム委員長	

概 要：

International Conference on Distributed Computing Systems (ICDCS) はネットワークを介した分散協調システムとその応用に関する国際会議であり、IEEE (米国電気電子学会) が 1979 年から毎年開催している。当該分野のトップ研究者が集う世界最高峰の国際会議として広く認知されている。

ICDCS2016 は、2016 年 6 月 27 日から 6 月 30 日の 4 日間、奈良ホテルにて開催された。国内外から 250 名を超える参加者があり、会期全体を通して盛況で、活発な議論が行われた。

初日の 6 月 27 日にはチュートリアル 4 件、併設ワークショップ 5 件が開催された。6 月 28 日から 3 日間に渡る本会議では、基調講演 2 件、論文発表 68 件、ポスター発表 18 件、デモ発表 11 件が行われた。基調講演では、ビッグデータ・ラーニング、ビッグデータの力をテーマに、時機を得た最新の研究成果に関する講演が行われた。本会議の論文採録率は約 18% で、質の高い論文を採録できた。伝統的なテーマに加え、スマートコミュニティと Internet of Things (IoT) など、今後の人間と機械のあり方に深く影響するようなテーマのセッションも新たに設けられた。各セッションでは、レベルの高い発表と質疑が行われた。

今回の日本での ICDCS 開催は、横浜 (1992 年)、東京 (2004 年) に続くものであり、当該分野の研究推進、内外の研究者の交流促進に大きく貢献するとともに、日本の当該分野への取り組みを国際的に情報発信する機会となった。